

牧山 正男(准教授)

Makiyama Masao

農地環境工学研究室

Lab. of Land Environmental Engineering

連絡先

農学部研究棟 227号室

URL: http://www.agr.ibaraki.ac.jp/assets/images/summary/pdf/local_02/15.pdf



研究内容キーワード: 中山間地域の活性化, 滞在型市民農園(クラインガルテン)

研究の概要

- 過疎・高齢化が深刻な中山間地域の活性化を目指して、いくつかの研究を行っています。最近では農村移住・定住(田園回帰)に注目していますが、テーマとして長く関わっているのが、滞在型市民農園です。
- 滞在型市民農園とは、宿泊を許可された小屋が区画内に付設された市民農園のことで、クラインガルテン(Kleingarten, ドイツ語で小さな庭)とも呼ばれています。
- 比較的気軽に週末農業や二地域居住を体験できるこの施設は、都市農村交流や地元住民の雇用など、地域を元気にする効果が期待されます。しかし、地元の管理・運営体制の構築や、過剰供給、施設の老朽化への対応など、課題が多く残されています。最近は特に、持続的な住民組織のあり方に取り組んでいます。

主な所属学会: 農村計画学会, 農業農村工学会



(例)クラインガルテン曾爾
(奈良県曾爾村)

- ◇ 2003(平成15)年開園
- ◇ 全30棟
- ◇ 年間利用料 52.5万円
(入居時保証金5万円)
- ◇ 区画面積 200 m²
- ◇ ラウベ面積 43.2 m²